

「2024年ダイヤ改正について」提案を受ける!

5. 主な労使議論

その②

組合:ダイヤ改正の目的を明らかにすること。

会社:目的は輸送体系の見直しや輸送力の適正化を図る。お客さま視点で言うと特急列車の運転時刻見直し、会社内の視点で言えばワンマン運転拡大である。



組合:「特急ひたち号」のいわき駅止まりの運用について、1時間で折り返す理由を明らかにすること。

会社:今回 E657系の留置する列車や運用を見直す。作業に変更はないと考える。関連会社とは調整を図る。

組合:E531系ワンマン運転改造工事の状況を示すこと。

会社:計画していた E531系5両33編成は3月までに全て終了する予定である。

組合:土浦—水戸間のワンマン運転を行う時間帯の理由を示すこと。

会社:お客さまのご利用状況や現在 E531 系5両で運転している実績等を勘案して実施する考えである。

組合:E531系5両でツーマン運転は実施するのか示すこと。

会社:E531系5両は全てワンマン運転である。それ以外はE531系10両やE501系の運転である。

組合:各箇所の運転士と車掌、現行と改正の行路数を示すこと。

	勤務	現行		改正	
		日勤	泊まり	日勤	泊まり
土浦運輸区	運転士	6	18	6	18
	車掌	6	14	2	14
水戸運輸区	運転士	5	11	3	10
	車掌	2	4	2	3
勝田運輸区	運転士	7	19	6	21
	車掌	5	16	2	17
いわき統括センター	運転士	5	10	5	11
	車掌	4	5	2	4
原ノ町統括センター	運転士	5	8	4	7
	車掌	2	5	2	3
水郡線統括センター	運転士	4	5	5	5
	車掌	5	1	5	1



JR東労組水戸地本は組合員・社員の要求をもとに、団体交渉を行います!